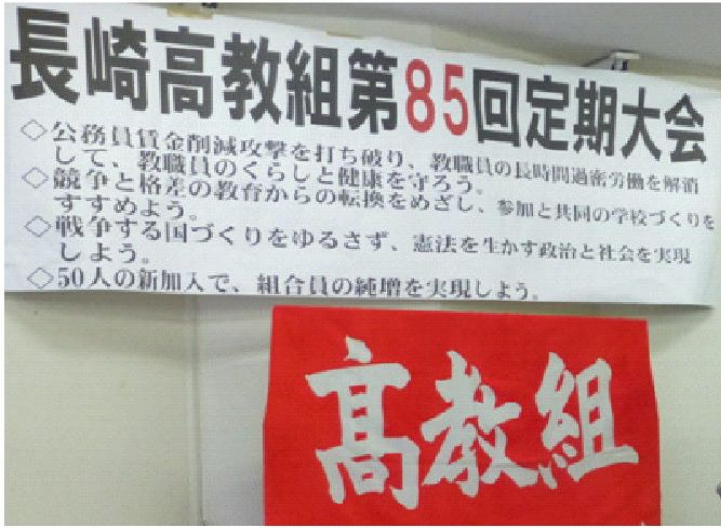


長崎高教組新聞

発行
〒850-0013 長崎市中央2丁目2番5号
長崎高教組会館
長崎高等学校教職員組合
☎ (095)-827-5882
FAX (095)-826-2976
編集責任者 小田 誠
購読料 一部10円
組合員は組合費に含む
メールアドレス
naga-kks@fsinet.or.jp

長崎高教組第85回定期大会開催!

長崎高教組の組合員であることに誇りを持ち、高教組のとりこみの正しさを確信し、教職員の生活と権利を守るため、そして児童・生徒の学習権を保障するために力を合わせていこう



長崎高教組は、6月21日(土)、大村市民会館で第85回定期大会を開催しました。

県内各地から、各支部・分会の代議員55人、専門部等からの特別代議員1人、本部執行部5人が参加しました。

小田委員長のあいさつ

冒頭、北松支部猶興館分会、島原支部島原工業分会での青年教職員の新規加入を報告し、会場が拍手に包まれました。

あいさつでは、まず本部執行部の活動を通して感じた「長崎高教組のとりこみの正しさ、組合員であることの誇り」を強調し、「教職員の生活と権利を守り、児童・生徒の学習権を保障する」という長崎高教組の尊い役割をあらためて確認したことを熱く語りました。

第二に、「教職員や児童・生徒、保護者、地域の要求を実現するため、長崎高教組がより大きく、より強くなる」必要性を訴えました。そして



あいさつを行う北村佳久
全教中央執行委員長

「今朝、会場まで自動車で移動している途中で見た、田植えを待つ水の張った田んぼに平和の尊さを感じました。ふと、悲しみが襲ってきました。この平和が取り上げられようとしていた。私たちは、児童・生徒の未来を閉ざす安倍政権に対し、はつきりと、NO! の意思表示を行いましよう」と呼びかけました。



全教中央執行委員長の
来賓あいさつ

「良き組合員は良き教師たれ」ということばを紹介し、あらためて組合員に、より一層の奮闘をお願いし、「良き教師は良き組合員たらねばならぬ」へと止揚していくことを熱望しました。

第三に、安倍政権の憲法改正、教育再生の危険性を指摘し、「戦争できる国作りへむけた法律改正、制度改革、思想の統制」に対して、「教え子を再び戦場に送らぬ」という尊い誓いを合言葉として、活動を行うことを提案しました。

「今朝、会場まで自動車で移動している途中で見た、田植えを待つ水の張った田んぼに平和の尊さを感じました。ふと、悲しみが襲ってきました。この平和が取り上げられようとしていた。私たちは、児童・生徒の未来を閉ざす安倍政権に対し、はつきりと、NO! の意思表示を行いましよう」と呼びかけました。

全教の北村佳久委員長は、本年4月からの日高教と全教の一体化の経緯を紹介したのち、発展的に解消した日高教に代わって全教の役員が今後お世話になることを平易な言葉で伝えました。

そして、「3・11の2ヶ月後、全教の呼びかけで、子どもたちが一日でも早く学校に戻り、学習できるような学校環境を復旧させよう」と、石巻地区を中心に支援活動が行われました。全国から小学校や中学校、高校、特別支援学校という校種が違いますが先生方が集まっての活動でありましたが、先生方は子どもたちのために全力を尽くすという一点でまとまり、自然と自らの役割を果たす姿をのぞかすことができました。日高教と全教の一体化について、校種の違う先生方を一つにすることにへの懸念の声を根強くありました。が、「大丈夫だ」という確信を得ることができました。校種は違っても、長時間過密労働などの厳しい状況は変わらず、教職員の要求は同じで、文科省の攻撃に対応するため、全教が一つにならなければならない

休職専従の7年を含めて、17年におよんで本部役員として苦勞いたただき、昨年度末を持って退任された、大場前執行委員長から退任のあいさつが行われました。

大場前委員長は、「役員をしたからこそ、退職後の道が決まり、生きる力を与えてもらった」とお礼を述べるとともに「長崎高教組は、現場の教職員の合意の元に長崎の教育を進める原動力となってきた。微力ながらその一端を担えたことを誇りに思っています。今後の奮闘を祈ります」と長崎高教組へ熱くエールを送りました。そして、「今は、少し寂しい」と胸の内を吐露しました。

短時間再任用と県労連の労働相談員として日々の勤務を紹介された近況報告の中で、「学校の多忙化に対抗して、長崎高教組が何をなすべきかを一人ひとりが考える」と同時に教職員の要求を酌み取り組織する必要性を指摘し、また「労働現場の厳しさを高校生に伝え、それに対抗できる知恵を教える必要がある」と強調しました。

退任した本部役員
の
あいさつ



退任のあいさつを行う
大場雅信前執行委員長

長年にわたり、高教組を支えていただきありがとうございます。

討論の概要と結果

第2号議案を中心とする討論の中で、昨年度の各職場・支部での組織拡大のとりこみ、職場活動、全教共済のとりこみなど、また採用試験対策学習会のとこみなどが総括され、今年度の運動方針について、参加者から積極的な発言が相次ぎました。特に、拡大と職場活動のとりこみについては、

午後部の冒頭は、高退教の萩谷瑞夫会長から、高退教の紹介と退職後の加入の呼びかけがありました。また、安倍政権下での危険な状況に、閣僚内部での矛盾の表面化、外国との矛盾も吹き出している現状を指摘し、高教組の闘う伝統に期待すると同時に、高退教は高教組の応援団として高教組運動を積極的に支援すると表明されました。



萩谷瑞夫
高退教会長



次号で、討論の主な内容を紹介いたします。

議案の採決については、第1号議案(決算)、第2号議案(運動方針)、第3号議案(予算案)、第4号議案(選挙管理委員の選出)、第5号議案(大会スロガン)の全ての議案が、圧倒的多数の賛成で可決されました。

より多くの「声かけ」と「対話」を、「明るく、軽やかに、そして気長に」行い、職場の「集まる」「つながる」「語り合う」運動へつなげていき、「年間50人の拡大を実現」することを確認しました。

また、全教と全教共済の一体化による「集いあい促進費」を活用しての「五島サマーキャンプ」の計画が発表され、若い教職員をターゲットとした組織拡大・強化のために積極的に取り組みを進める意志を固める場となりました。

“日本の夏は 教研の夏”



2014年度長崎高教組・長崎私教連

夏季教育研究集会

8月10日(日) 12時
8月11日(月) 13時



国民宿舎川棚「くじやく荘」

川棚町小串郷272
☎(0956) 82-2661

【記念講演】 14:10~16:10

「今、求められる

高校教育の課題」

(仮題)

植田健男さん

名古屋大学大学院教授

昨年度の冬の教研(子どもと教育を考えるついで)で、大好評を博した埼玉高教組の小池由美子先生の「学び合い」「共同学習」の実践報告の中に登場したのが、植田健男さんでした。

名古屋大学大学院教育発達科学研究科の教授として、教育経営学、特に地域教育経営学の構築をテーマに研究、実践を行っておられます。教育経営とは公教育の組織・運営を意味しており、テーマの地域教育経営は、学校教育に重点を置いて考え、具体的には学校教育をどのようにして組み立て動かしていくのかの研究・実践です。

また、教育基本法第一条の「教育の目的」を「人格の完成」を常に念頭に置いて、学校教育を構築しようとしてよびかけておられます。



その中で、進学校における知識詰め込み教育に疑問を呈し、子どもの実態から出発し、子どもたちをまん中においた教育課程作りを提起しておられます。講演に乞うご期待。

【分科会】 16:20~17:30

6つの領域別分科会を予定しています。より多くのレポートを持つての参加を期待します。

第1分科会 平和・人権教育

憲法の学習・授業
8/9平和学習のとりくみ等

第2分科会 生活指導・自治的活動

文化祭・生徒会活動のとりくみ等

第3分科会 登校拒否・不登校・高校中退

「普通高校における特別なニーズを要する生徒の問題」を含む。鳴滝と佐世保中央はSSWの活用事例の報告を

第4分科会 参加と共同の学校づくり

父母・地域と連携した学校・クラス運営、「学び合い」型の学習のとりくみ

第5分科会 民主的職場づくり

超勤問題のとりくみ、大規模普通校が抱える問題・課題等

第6分科会 学校図書館

図書館づくり、司書をめぐる問題・課題等

1日昼夜には交流会もあります。若い人に声をかけて、学び合いましょ。

夏はもうすぐ！海が待っている！ 五島マーキャンプに行こう！

職場の忙しさを2日間だけ忘れて、五島の青い海で思い切り遊び、海辺のキャンプ場でおいしいバーベキューを食べ、冷たいビールを飲んで、みんなでワイワイやりませんか。組合未加入の方も歓迎です。ただし、バンガローの定員がありますので、先着順になります。申し込みは分会長(職場の組合代表)へ

期日：8月23日(土)・24日(日)

＜主な予定＞
23日(土)
10:00 ジェットフォイルで長崎出発
11:25 福江港に到着
※ジェットフォイルの往復代金は高教組が負担します
以後、電気自動車(レンタカー)で島内巡り
※レンタカーの代金は高教組が負担します
15:00 さんさん富江キャンプ村到着
17:30 バーベキュー開始
※自己負担は組合員2千円(未加入者は5千円)
※バンガローの宿泊費は全員分、高教組が負担します。

24日(日)
朝食後、高浜ビーチへ移動。五島の海を堪能しましょう。希望者はサーフィンもベテランサーファーの組合員が丁寧に指導します。
16:30 ジェットフォイルで福江出発
長崎県高等学校教職員組合 青年部

青年部が、五島支部とタイアップして、満を持して打ち出してきた「五島サマーキャンプ」です。日程とお楽しみの内容、そして大まかな必要経費を提示することができました。

日程は、8月23日(土)・24日(日)です。いくつかの学校では、いわゆる2学期が実質的に始まっているかもしれませんが、早く周囲の先生に宣言をして、本来の週休日を確保するようにしましょう。

お楽しみは、①電気自動車での福江島巡り、②さんさん富江キャンプ村でのバンガロー宿泊、③海、山の幸のバーベキュー、④満天の星空の下でのトーク、⑤高浜ビーチでの海遊び、⑥opでサーフィン、サーフボード体験、⑦五島の恵のお土産などです。

環境に優しい電気自動車をレンタカーで体験できるのは、環境問題に熱心で昨年「E-Visionary Award」を受賞した五島市ならではの楽しみでもあります。福江島巡りでは、行きたいところはたくさんありすぎて大変なのですが、佐木隆三原作の映画「復讐するは我にあり」の堂崎教会や長崎南高卒の吉田修一原作の映画「悪人」の大瀬崎灯台、溶岩台地に形作られたスコリア丘群の鬼岳、鬼岳の噴火で流れ出た溶岩でできた鎧瀨(あぶんせ)海岸など、ドライブコースはいろいろあります。

日頃のあくせくしたさまざまなものから解放され、こころもからだも開放感に浸り、少年少女時代に戻るようなキャンプ村でのバンガロー宿泊。ドキドキ、ワクワク感が高まってきます。そして、野外でのバーベキュー。与えられた食事でなく、自分で切って、焼いて食べる海や山の幸は、幸福感をもたらします。そして、さまざまな先生方との星空の下でのトーク、こころに秘めて封印していた思いを思わず吐露するかもしれません。

寝不足の目をこすりながら、ゆっくり朝食を楽しんだ後は、五島の海を満喫します。長崎県一、いやいや日本でも屈指のきれいな砂浜、高浜ビーチに行きます。泳ぐ人もいられるでしょう。砂遊びに興じる人もいられるでしょう。楽しみ方は、それぞれです。希望する人は、サーフィンやサーフボードが体験できます。安全に留意して楽しんでいただきたいと願っています。

こころ一杯の思い出と両手一杯の五島のお土産を手に現実世界に戻りましょう。

なお、参加費用等については、組合員はバーベキュー、飲み物、朝食代の2千円のみです。未加入者は、バーベキュー、飲み物、朝食代としての5千円、長崎までの交通費が自己負担となります。すぐに申込みを！